

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 240

所管部局	福祉部	所管課	高齢福祉課	担当者名	西 亜希子
事業名	敬老祝い事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	敬老祝い事業			政策体系	145
会計	一般会計	科目	3.民生 - 1.社会 - 4.高齢		

1. 事業の概要

各地域で開催される敬老祝賀事業について、市内在住の70歳以上の方を対象に助成金を交付。また、米寿祝（88歳）、白寿祝（99歳）の対象者については、記念品等を贈呈し長寿を祝う。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

高齢者の方を敬愛し長寿を祝い、市民が老人の福祉について関心と理解を深め、かつ、高齢者自らの生活の向上に努める意欲を高めるための敬老事業行う区等に対し支援を行う。また、高齢者の方へのこれまでの労苦へのねぎらいと長寿のお祝いの機会として、米寿祝や白寿祝を実施する。

②事業を実施する必要性

多年にわたり社会に尽くしてきた高齢者の方への敬愛の思いを含めて長寿を祝うことは必要である。

3. 事業費の推移

		単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額		千円	18,072	18,853	17,982	17,230	18,856	19,374	19,609
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	18,072	18,853	17,982	17,230	18,856	19,374	19,609
職員等の従事人員	人/年	—	—	0.32	0.30				
人件費	千円	—	—	2,208	2,096				
事業費総額	千円	—	—	20,190	19,327				

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

敬老事業補助金	15,762,420円
米寿祝	646,380円
白寿祝	813,700円

5. 事業結果の概要

敬老祝事業	169地域	対象人数	7,510人
米寿祝	対象者	162人	
白寿祝	対象者	15人	

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 敬老事業		
敬老事業補助金交付申請について説明（区長会）をする	4月	
敬老事業補助金交付申請受付締め切り決定通知と併せ実績報告書用紙の送付を行う	6月末	申請後決定通知書の発行
敬老会実施区より補助金交付実績報告の提出があれば審査し、確定通知を送るとともに、支払をする。	随時	確定通知送付支払164地区
(2) 米寿		
米寿該当者把握	6月末	
米寿祝 各地区で個人宅に贈呈に行く	9月	さをり織染クッション・祝文を贈る162名
(3) 白寿		
白寿祝：市長・高齢福祉課長・該当地区健康福祉課長・担当者により対象者宅へ訪問	対象者誕生日	花束・饅頭・祝い金を贈る15名

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

高齢者の方を敬い長寿を祝うための敬老祝賀会等を各地区で積極的に取り組んでいただいた。平成21年度より、敬老事業補助金単価を統一し交付をしたところであるが、敬老事業の対象年齢については今後の検討課題である。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
敬老事業対象者年齢が適切かどうかの議論を行った。一人当たりの金額についても議論した。
- ②当該事業のアピール事業
老いを敬い長寿を祝うため各地区区長会等でお知らせをし、積極的に取り組んでいただいた。
- ③反省点、今後の展開・方向性
元気な高齢者が多い中、70歳が適当なのか今後も検討課題。敬老事業補助金単価については平成21年度で統一予定。